



大切な誰かの笑顔川柳に

作品募集で国保をPR 「国保スマイル川柳コンクール」

本会では今年度、「国保料（税）の収納促進」「特定健診の受診促進」「ジェネリック医薬品の普及促進」を3つの柱として、「自分ではない大切な誰かを笑顔にすること」をテーマに、さまざまな広報事業「国保スマイルプロジェクト」を展開している。

その一環として、熊本放送の企画協力のもと「国保スマイル川柳コンクール」を実施した。9月25日から10月31日まで、ラジオで告知するとともに、地元生活情報誌に掲載した国保に関する広報などを通して、大切な誰かの「笑顔」をテーマに川柳を募集したところ、本会ホームページやはがき、FAXのほか、「国保スマイルプロジェクト」で実施した映画の試写会会場でも応募があり、合わせて181点の作品が寄せられた。

本会広報委員等による一次審査、二次審査で最優秀賞1点、優秀賞3点、入選12点を決定し、12月3日にびぶれす熊日会館（熊本市中央区）7階のびぶれすスタジオで表彰式を行った。

式には入賞者と、それぞれの作品に描かれた「笑顔」の当事者である家族などが出席し、本会保健事業支援課長と熊本放送ラジオ営業部長から入賞者に賞状と副賞が授与された。

副賞として贈られたのは、「笑顔」の似顔絵色紙で、九州出身の似顔絵作家 JERO さんがそれぞれの写真を基に描いたもの。

最優秀賞に選ばれた叶恵美さん（熊本市西区在住）は、夫である俊哉さんの笑顔を思って詠んだそうで、表彰式に夫婦で出席して、「受賞の知らせにびっくりしました。応募したことを言っていなかったもので、夫はもっと驚いたと思います。嬉しいです」と喜びの言葉を述べた。

応募作品は、笑顔の持つ力を詠んだもの、子どもや孫、逆に父母や祖父母など家族の笑顔を描いたものも多く、ペットを描いたものもあった。また、国民健康保険の主催ということで、健康や健診受診の大切さを詠んだ作品も多く寄せられた。

入賞作品16点と似顔絵色紙は、同会館の7階ロビーに12月10日まで展示された。



(入賞作品は次頁から掲載)

最優秀賞

「健診で 笑顔戻って 気も晴れて」 叶 恵美さん（熊本市西区）



優秀賞

「大切な あなたの笑顔が たからもの」 河端 まりさん（熊本市中央区）



「健診で 皆が健康 笑い顔」 北森 照男さん（熊本市西区）



「福きたる 健康きたる 笑う角」 力徳 知世さん（熊本市南区）



入 選

「にっこりと 皆で健診 異常なし」	北森	由起子さん（熊本市西区）
「ごはん粒 付けて頬張る 朝ごはん」	本崎	美幸さん（合志市）
「かけっこで こけてもママは Vサイン」	柴田	一正さん（熊本市南区）
「いい笑顔 笑顔ほめられ また笑顔」	藤沢	孝代さん（八代市）
「笑顔こそ 心をつなぐ 共通語」	上田	美知子さん（熊本市東区）
「渋顔を 笑顔に変える 孫チカラ」	渡邊	一成さん（玉名市）
「スマイルが 人々繋ぐ パスワード」	吉田	陽子さん（熊本市北区）
「鬼瓦 孫の顔見て 仏顔」	宮本	真弓さん（熊本市中央区）
「笑顔なら 皆がもってる 宝物」	荒木	富子さん（熊本市中央区）
「ただいまと 玄関開けると 妻笑顔」	中嶋	博幸さん（熊本市北区）
「支えあい 笑顔いっぱい 皆元気」	福田	順子さん（熊本市中央区）
「笑顔には 和と輪をつなぐ 虹がある」	角	軍亀さん（上益城郡益城町）